












（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																									
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、登用、福利厚生施設の利用などあらゆる条件で差別のない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。（委員会活動、相談窓口の設置、意見交換会の実施）					5.1 5.2 5.5									16.1 16.2 16.7							
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメント禁止の内容を就業規則、規程類に明記勉強会の実施、相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5									16.1							
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・長時間労働は正のための改善活動、時間管理、勤務体制の整備や短期増員対応などを行っている。															8.5 8.8						
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・差別や人権侵害の無いようにハラスメントやモラルについて勉強会の実施、相談窓口を設置している。				4.4											8.7 8.8	10.2 10.3					
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・安全衛生委員会活動、ヒヤリハット活動などを通じて改善活動を行っている。グループの安全基準に即した監査や整備を実施している															3						
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスに関する方針と計画を策定し、ストレスチェックと希望者への面談体制など構築をしている。															3						
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・多様な人材活用を実施しており、女性、外国人、高齢者の比率が高く、機械化、説明資料や周知の工夫など働きやすい職場整備を進める。					5.1 5.5											8.5	10.2 10.3				
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・社員教育体制を構築している。階層別にカリキュラムを設けてPC活用した研修やグループ研修体制などにより計画的に教育研修の機会がある。					4	5.5									8	9					
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・同一労働同一賃金の原則に即し、パート労働法や法改定内容に対応した就業規則の整備を進めている。							5.5									8.5	10.2 10.3				
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・社内で「健康宣言」などの健康促進活動を実施。グループとあわせた健康診断や人間ドック支援をPRL健康促進を行っている。																3	8				
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の種類・量など現状を集計した実績を整備している削減のための計画目標を策定している。																11.6	12.4	14.1			
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・環境数値把握のソフトを導入し省エネ対策、計画目標数値を策定している。																		13			
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・環境数値把握のソフトを導入し省エネ対策、計画目標数値を策定している。																		12.4	13.3		
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・有害化学物質の取扱いは無し。																		3.9	6.3	11.6	12.4
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・【予定】事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、負の影響を削減するための計画を策定する。																				6.6	15
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・工場の資源利用の削減、再利用を推進している。原料の残渣を飼料化し養豚場に飼料として活用など取り組みを実施。																				12.5	14.1
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】自社の水源を含む水利用状況を把握し、使用量削減の計画を策定する。（2022年度策定）																				6.4 6.6	

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7						12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ														12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2							13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ														12.2	13	14	15				
22	公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範及び運用上の基準を整備し社内周知を実施。																		16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為を含む行動規範の整備と関係部署へ研修を実施。																				16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・グループを通じて特許・商標等知的財産権の取得・管理を行っている。										8.2	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・「個人情報保護基本規程」など社内規程を作成し体制を整備している。 ・情報管理の基本ルールを定期学習を行い周知している。																				16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・自社製品の原材料、サプライチェーンを把握し、限定原料については保証確認を行っている。																				16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5					8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・FSSC22000認定を取得し、製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。				3.9										12.4						
29	製品・ サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。 ・FSSC22000認定企業として定期更新審査を行っている										9										
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6							12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・特定の社会課題解決をテーマとした製品開発を推進している。(高齢化・簡便性・日持ち商品開発)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

